託された未来をひらく
三井住友トラストグループ

2026 年 11 月6日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

インド HDFC グループが組成する住宅不動産開発ファンドへの出資について

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：米山 学朋、以下「当社」）は、HDFC Capital Advisors Limited（本社：インド・ムンバイ、以下「HDFC Capital」）が運営するインドの住宅開発ファンド「HDFC Capital Development of Real Estate Affordable and Mid-Income Fund（以下「H-DREAM Fund」）」へ出資しましたのでお知らせします。

HDFC Capital は、インド有数の民間金融グループである HDFC グループに属する不動産アセットマネジメント会社です。インド国内の住宅開発プロジェクトに対する投融資を行っており、主に中間所得者層までの住宅分野に注力しています。インドにおける住宅需要の拡大による社会課題の解決に加え、国際的なグリーンビルディング認証制度である EDGE 認証の取得を推進することで、持続可能な住宅開発にも取り組んでいます。

本件は、H-DREAM Fund への出資を通じて、HDFC Capital および HDFC グループとの幅広い分野での協業を推進し、同グループの知見・ネットワークを活用することでインドにおける新たな金融ビジネスの創出を図るものです。

当社は、お客さまや産業の課題を起点に、当社の投融資の知見・目利き力を生かし、持続可能な社会の実現に資する投融資機会の創出に注力しています。特に、社会課題の解決や社会価値の創出に直結するリアルアセット領域(※1)を重点的に強化し、成長・変革に向けた課題解決に伴走していきます。

（※1）エネルギー、不動産、船舶、航空機等の社会・産業インフラを対象とする投融資領域

【本ファンド概要】

名称	HDFC Capital Development of Real Estate Affordable and Mid-Income Fund
設立国	インド
目標ファンドサイズ	425 億インドルピー（上限 850 億インドルピー）（※2） （※2）日本円換算（リリース時点）：約 701 億円（上限約 1,402 億円）
投資対象	アフォーダブル住宅、および中所得者層向け住宅の開発案件

【HDFC Capital Advisors Limited 概要】

HDFC Capital は、SEBI（インド証券取引委員会）および IFSCA（国際金融サービスセンター機構）に登録された複数のカテゴリーII オルタナティブ投資ファンド（AIF）の運用業務に従事しています。同社が運用する各ファンドを合わせた投資プラットフォームの総額は約 50 億米ドルに達しています。

以 上